

がん化学療法処方

プロトコール名： 肺癌(小細胞)カルボプラチン・エトポシド療法(1クール21日)
(下に実際の投与方法を記載)

投与日	薬品名	投与経路	投与時間
d1	① グラニセトロン点滴静注バッグ1mg/50mL + デキサート注射液4.95mg	div	15分
	② エトポシド点滴静注液 100mg/m ² + 5%ブドウ糖液500mL VP16は、80-100mg/m ² 。	div	120分
	③ カルボプラチン点滴静注液 AUC5 + 5%ブドウ糖液250mL カルボプラチンは、AUC5-6。	div	60分
	④ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
d2,d3	① デキサート注射液3.3mg + 生理食塩液50mL	div	15分
	② エトポシド点滴静注液 100mg/m ² + 5%ブドウ糖液500mL VP16は、80-100mg/m ² 。	div	120分
	③ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
d1	アブレピタントカプセル 125mg 抗がん薬投与の1時間～1時間半前に内服	p.o.	

プロトコール適応時表示コメント

吐き気止めとして①にHT3-antagonistとデキサメタゾンを入れる。
Day2,3にアブレピタント80mg内服。

照射併用時照射線量

グレイ (備考欄)